

# 令和3年度事業報告書

認定NPO法人TSUBASA

## 1 事業の成果

令和3年度に力を入れて取り組んだ事業は次の通りでした。

- ① バードライフアドバイザー認定講座（以下BLA）3級のオンライン化
- ② オンラインでのセミナー・イベントを多数実施
- ③ 20周年感謝祭、オンライン愛鳥祭を開催
- ④ 文鳥103羽のレスキューを実施

### 【成果】

- ① 昨年のBLA2級と同様に、コロナ禍により対面でのセミナーが難しくなったことを受け、BLA3級を初のオンライン開催にて実施いたしました。これにより受講者は自宅から参加できるため新型コロナの感染拡大防止につながり、また遠方等が理由で今まで参加が困難だった方々が容易に受講できるようになりました。  
しかし一方で、オンラインセミナーはどうしても対面に比べ、講師と受講者がコミュニケーションを取り辛く、特に3級は受講者同士が交流し、繋がりを作ることも狙いである分、今後の課題であると感じました。
- ② 同じく新型コロナの影響で、施設開放やバードラン、施設でのイベント等を中止せざるをえませんでした。新たな工夫を思考錯誤しながら、オンラインに切り替えて様々なイベントを実施しました。愛鳥塾などのセミナー系のイベントをはじめ、「オンラインおもち作り教室」や「TSUBASA卒業鳥オンライン同窓会」といった、参加者との交流に力を入れたイベントも開催しました。
- ③ 昨年開催が中止となった20周年感謝祭並びに愛鳥祭を、オンラインでの開催に切り替えて実施しました。  
両イベントともTSUBASA初となる、YouTubeライブによる配信での開催となりました。たくさんの方にご参加いただき、ライブ配信中のコメントも多く、チャット欄で交流が生まれるなど、終始盛り上がりを見せたオンラインイベントになりました。
- ④ 10月に計103羽の文鳥をレスキューにより受け入れました。集合住宅の管理会社からの相談で、管理している賃貸で文鳥を推定100羽飼育されている方がおり、室内で文鳥を放し飼いにしているため臭いや害虫でトラブルとなり、裁判にまで発展し強制退去を通告されたとのこと。飼い主は一人暮らしの高齢者であるため、自身での里親探しは困難ということで、対応することとなりました。飼い主へのヒアリングや複数回の現場視察を経て、10月21日に97羽、26日に隠れていた文鳥を6羽受け入れ、計103羽のレスキューとなりました。  
今回の現場は過去最悪の環境で、文鳥たちの健康状態も全体的に悪く、投薬や治療が膨大なものとなりました。しかし、レスキューの報告後に500名を超える方々から約750万円（21年11月24日現在）のご寄付をいただき、今回のレスキューによる費用や、文鳥たちのケアを補うことができました。  
その後、このレスキューに関する報告会や、文鳥たちを対象とした里親会を開催した結果、35羽の文鳥の里親が決定しました。  
今後も残された文鳥たちのお世話や治療を行いながら、里親探しを継続していく他、この

ようなレスキューを無くしていくよう情報発信、啓発活動に努めて参ります。

2 事業の実施に関する事項（令和3年1月1日～令和3年12月31日）

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数		支出額 (千円)
(1) 鳥類適正飼養に関する教育啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・愛鳥塾</li> <li>・愛鳥祭</li> <li>・20周年感謝祭</li> <li>・セミナー・フォーラム・シンポジウム</li> <li>・バードライフト・ハイパー認定講座3級、2級</li> <li>・リーフレット設置、季刊誌の作成等</li> </ul>	通年	埼玉県新座市及び全国（オンライン含む）	9名	全国の愛鳥家・動物保護に関心を持つ方	1499名	9,545
(2) 鳥類の保護事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里親会（MTB）開催</li> <li>・レスキュー引き取り事業等</li> <li>・鳥の飼育業務</li> </ul>	通年 (引き取り・飼育業務) ※MTBは別途記載	埼玉県新座市及び全国（引き取り）	12名	全国の愛鳥家	164名	18,238
(3) 鳥類飼育、公衆衛生に関する出版物刊行事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飼鳥のペレット読本</li> <li>・鳥種別リーフレット</li> </ul>	通年	埼玉県新座市	8名	全国の愛鳥家・獣医師他	4834名	209
(4) 鳥類の飼養・疾病・食餌に関する調査・研究・開発事業	健康管理に係る食餌、気温の調査	毎日	埼玉県新座市	9名	全国の愛鳥家	—	—
(5) 青少年に対する動物愛護精神啓蒙活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習生の受け入れ</li> <li>・特別授業</li> </ul>	随時	埼玉県新座市	11名	学生一般	12名	—
(6) 国内外に於いて鳥類のおかれている環境の現況視察事業	令和3年度は活動実績なし	—	—	—	—	—	—

(7) ペット用品、 飼料及び装身具 の売買、製造、 及び輸出入業務	鳥の為の物の販売等 ・鳥の餌 ・オモチャなど	随時	埼玉県 新座市	9名	施設 来訪者	343 名	692
(8) 動物病院施設及 び動物宿泊施設 の経営	令和3年度は活動実績 なし	—	—	—	—	—	—
(9) ペットに係る 飼養・食餌以 外の物品販売 業	人の為の物の販売等 ・カレンダー ・コーズリボン ・雑貨など	随時	埼玉県 新座市	9名	施設・ イベント 来訪者	234 名	613

(2) その他の事業 なし

### 3 各事業の活動内容等

(1) 事業名 鳥類の適正飼養に関する教育啓蒙事業

1：バードライフアドバイザー3級認定講座

開催地、開催日

福岡：2/28

オンライン開催：5/30、6/1、10/3

合計4回 受講者 180名

担当：松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、望月（NPO法人TSUBASA理事）

内容：日本で唯一の飼い鳥に限定した認定講座である「バードライフアドバイザー認定講座」を開催し、愛鳥家に3級のテーマ「鳥と私が幸せになる」ための講義を通して、TSUBASAの活動や考え方をお伝えしました。

2：バードライフアドバイザー2級認定講座

開催地、開催日（講座受講は1度の受講で2日連続講義）

オンライン開催：7/3・7/4

合計1回開催（2日間） 受講者 59名

担当：松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、望月（NPO法人TSUBASA理事）

講師：眞田靖幸先生・直子先生（小鳥の病院BIRDHOUSE、CBL）、  
石綿様（ALETTA代表）、  
木村様（ナチュラルリスト/東京都鳥獣保護管理員）、  
小柳様（小鳥の病院BIRDHOUSE 看護師）、  
青木先生（あきくさ法律事務所 弁護士）

内容：日本で唯一の飼い鳥に限定した認定講座である「バードライフアドバイザー認定講座」を開催し、愛鳥家に2級のテーマ「鳥と私と貴方が幸せになる」ための講義を通して、TSUBASAの活動と3級より掘り下げた内容を専門講師と共に伝えました。

3：セミナー等のイベント（一部を除きBLA2級スキルアップ対象セミナーを兼ねる）

開催地：福岡、オンライン

合計 11回開催

担当：松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、涌井（NPO法人TSUBASA理事）、望月（NPO法人TSUBASA理事）、加藤（NPO法人TSUBASA職員）、柴山（NPO法人TSUBASA職員）、城ヶ崎（NPO法人TSUBASA職員）、越阪部（NPO法人TSUBASA職員）

内容：日々更新される鳥達の飼い方の最新情報を常に取り入れる事を目的としています。2級は更新制で、BLAポイント対象のセミナー等のイベントに3年間で20ポイント分参加する必要があります。スキルアップセミナーは、ポイントが取得できる対象となります。

イベント名（一部抜粋）

「愛鳥塾（福岡開催）」

「オンライン愛鳥塾（オンライン開催）」

「第18回TSUBASAシンポジウム（オンライン、愛鳥祭期間内で開催）」

#### 4：TSUBASA20周年感謝祭

開催地：オンライン

開催日：3/20

担当：松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、涌井（NPO法人TSUBASA理事）、望月（NPO法人TSUBASA理事）、加藤（NPO法人TSUBASA職員）、柴山（NPO法人TSUBASA職員）、城ヶ崎（NPO法人TSUBASA職員）、越阪部（NPO法人TSUBASA職員）、井伊（NPO法人TSUBASA理事）、戸島（NPO法人TSUBASA職員）、柴（NPO法人TSUBASA理事）

内容：TSUBASAの20年の活動を支えていただいた皆様へ感謝を伝えるイベントとして企画しました。本来は昨年に会場を借りて開催予定だったイベントですが、新型コロナウイルスの影響を受け延期となり、オンラインへの開催へと切り替えました。TSUBASAのイベントとしては初めてとなる、YouTubeライブで開催しました。前半はTSUBASAフォーラムとして、新入社員による成果発表と、TSUBASA職員による活動報告を行い、後半は感謝祭としてクイズ大会や施設のバックヤードツアーといった催しをはじめ、獣医師との対談やTSUBASAの20年での活動で起こった出来事などを紹介しました。

#### 5：オンライン愛鳥祭

開催地：オンライン

開催日：6/12から6/20

担当：松本（NPO法人TSUBASA代表理事）、涌井（NPO法人TSUBASA理事）、望月（NPO法人TSUBASA理事）、加藤（NPO法人TSUBASA職員）、柴山（NPO法人TSUBASA職員）、城ヶ崎（NPO法人TSUBASA職員）、越阪部（NPO法人TSUBASA職員）、井伊（NPO法人TSUBASA理事）、戸島（NPO法人TSUBASA職員）、柴（NPO法人TSUBASA理事）

内容：「常識から良識」というテーマの下、鳥業界の意識改革を目標として2019年までに4回開催してきたイベントでしたが、昨年は新型コロナウイルスの影響を受け中止となり、こちらもオンラインでの開催を決定しました。オンライン愛鳥祭は6月19日～20日の9日間で開催しました。多くの講師によるセミナーや、6月15日の「オウムとインコの日」にちなんだオンライン慰霊祭、鳥グッズ製作のクリエイター様や企業様による出展販売等、内容が濃いイベントを開催することができました。

## 6：その他勉強会等イベントの開催

上記以外でも、以下のイベントを主催あるいは参加しました。（時系列）

「鳥類臨床研究会（2月オンライン開催）」動画での出展

「Animal World Cup 2021」にて講演

「オンラインおもちゃ作り教室」主催

「TSUBASA卒業鳥オンライン同窓会」主催

「絆祭（ヤマザキ看護動物大学の学祭）：バードミーティング」にて講演

## (2) 事業名 鳥の保護事業

保護するだけにとどまらず、新しい里親を探す活動も含まれます。

### 1：TSUBASAで暮らす鳥の里親探し

・里親が決まった数：計 66 羽

内訳：ヨウム（4羽）、オカメインコ（12羽）、セキセイインコ（8羽）、アオメキバタン（1羽）、キンカチョウ（1羽）、コザクラインコ（1羽）、ワキコガネウロコインコ（1羽）、コミドリコンゴウインコ（1羽）、コガネメキシコインコ（1羽）、オオバタン（1羽）、キビタイボウシインコ（1羽）、コキサカオウム（1羽）、文鳥（33羽）

・鳥の里親会（MTB：Meet the bird）開催

施設で暮らす鳥達の里親会。昨年と同様、新型コロナウイルスへの感染対策を徹底しつつ、参加人数の制限や説明会を動画で配信するなどの対策をしたうえでの開催となりました。

また、セキセイインコやオカメインコ等の小型鳥にスポットを当てた「小型MTB」や、103羽のレスキューした文鳥を対象とした「レスキュー文鳥里親会」といった、通常とは違うかたちでの里親会も開催しました。

里親会参加者総数：137名

開催日：4/23～26、8/12～15、10/23～24、11/21～22

小型MTB：11/23

レスキュー文鳥里親会：12/4～5（受付期間）

2：外部からの鳥の引き取り：27件、148羽の鳥を引き取りました。

5件122羽は、高齢者の飼育困難、死亡により。

※内2件はレスキュー案件（飼い主不在/事前健康診断ができない/書類が出せない/緊急性が高い等）：文鳥（103羽）、コウロコボウシインコ（1羽）、ゴシキセイガイインコ（1羽）を含む

2件2羽は、インコ由来の呼吸器疾患、喘息、アレルギーにより（年齢問わず）

10件13羽は、家庭都合（引っ越し、飼育放棄）により。

10件11羽は、高齢ではない飼い主の病気により。

また引き取りとは別に、飼い主のコロナ陽性に伴う緊急入院による預かり（1件2羽）も実施しました。（後日、飼い主の容態が回復し預かりは終了）

### 3：鳥のお世話に関するボランティア

日時：毎日 9:00～16:00（時間はボランティア様選択制）

延べ人数：計 288人

※新型コロナの影響で1～3月と5月は募集休止、それ以外の月は徒歩または自家用車で来られる方のみに募集を縮小)

(3) 鳥類飼育、公衆衛生に関する出版物刊行事業

1：鳥類獣医師の集まりである「鳥類臨床研究会」にて作られた情報をもとに、TSUBASAが作成した鳥の種類別のリーフレットを販売しました。

2：飼鳥のペレット読本

昨年に引き続き、小鳥の病院BIRDHOUSE院長眞田直子先生に執筆していただいた書籍の販売を行いました。愛鳥家の方はもちろんのこと、獣医師の集まるイベントなどでの販売、病院への卸販売も行いました。

令和元年に新たに改訂版を発行しましたが、概ね好評との御意見を頂きました。

(4) 鳥類の飼養・疾病・食餌に関する調査研究、開発事業

毎日の施設の鳥達の健康管理を通して、飲水量、糞便検査、血液検査、気温の変動による体調の変化などをチェックしました。それに加え、発情抑制やトレーニングの成果など含めて鳥達の飼養をする中で得られた学びを愛鳥家の方々に愛鳥塾やブログにてフィードバックをしました。

(5) 青少年に対する動物愛護精神啓蒙活動

学校からの依頼により実習生を随時受け入れ、保護施設の清掃をはじめ飼い鳥との接し方、保定、治療や看護について、実践的な学びの場を提供しました。

【令和3年度研修の受け入れ並びに、講義を行った学校】

東京コミュニケーションアート専門学校

埼玉動物海洋専門学校

ヤマザキ動物看護大学

国際動物専門学校

大宮国際動物専門学校

(6) 国内外に於いて鳥類のおかれている環境の現況視察事業

→令和3年度は実績なし

(7) ペット用品、飼料及び装身具の売買、製造、及び輸出入業務

鳥のための用品（ケージ、餌、おもちゃ等）が該当します。

鳥たちと愛鳥家の皆様のためにお勧めできる餌、おもちゃなどの販売を実施しました。また、時間のあるお客様にはご注文いただいた商品の取り寄せ販売も実施いたしました。

(8) 動物病院施設及び動物宿泊施設の経営

→令和3年度は実績なし

(9) ペットに係る飼養・食餌以外の物品販売業

鳥を飼う方向けの用品（飼育書等）が該当します。

TSUBASAを広く普及するための雑貨（コーズリボン）、カレンダーなど

4 各種メディアでの活動内容の報道実績について

(1) 九州朝日放送「シリタカ」

- (2) JAMMIN
- (3) (株) エイブル/CHINTAI 「地域に超密着!街ドキ埼玉」
- (4) 日本テレビ「news every.」
- (5) 女性セブン
- (6) Pet Pop SQUARE

## 5 会員数、寄附者、ボランティアなど

正会員	:	347 人
賛助会員	:	219 人
法人会員	:	1 団体
名誉会員	:	19 人
寄附者	:	延べ 2,369 人
鳥のスポンサー	:	延べ 452 人
鳥のお世話に関するボランティア	:	延べ人数 : 計 288 人
プロボラなど	:	7 名

また、募金箱への募金、支援物資の提供（ウイッシュリスト含む）、古本の提供（きしゃぼん）、支援の羽の提供、募金箱の設置、リーフレットの設置、鳥たちのおもちゃ作り、支援を目的としたイベント等の開催動物愛護イベントでの啓発活動、SNS等によるPRなど、様々な形でご支援をいただきました。

更には、文鳥 103 羽のレスキューをはじめ、2018 年にコラボレーションをしたJAMMINとチャリティーグッズを新たに販売、株式会社オリエンタルベリーによるTSUBASAへの寄付つき商品（カレンダー・ダイアリー）の販売といったことも、TSUBASAへのご支援や周知に繋がりました。